

ベネズエラ

主要データ

国名〔英名〕	ベネズエラ・ボリバル共和国〔Bolivarian Republic of Venezuela〕
面積(km ²)	912,050
海岸線延長(km)	2,800
人口(百万人)	28.9
人口密度(人/km ²)	31.7
GDP(十億US\$)	373.98
一人当りGDP(US\$)	12,472.13
主要鉱産物：鉱石	ボーキサイト、鉄鉱石
主要鉱産物：地金	-
鉱業管轄官庁	石油鉱業省
鉱業関連政府機関	国立地質鉱山研究所(INGEOMIN)
鉱業法	鉱業法(Decreto con rango y fuerza de ley de Minas) 1999年
ロイヤルティ	-
外資法	-
環境規制法(環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	環境組織法(Ley Organica del Ambiente) 2006年
鉱業公社	ガイアナ開発公社(CVG:Corporacion Venezolana de Guayana)、Mineraven 金開発公社(CVGの子会社)
鉱業活動中の民間企業	Crystallex International 社
近年の鉱業関連問題(資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・2010年9月に、Gold Reserve 社が、Brisas 金プロジェクトと Choco5 金鉱山が実質的に接収されたことを不服としてベネズエラ政府を国際投資紛争解決センター(ICSID)に提訴 ・2011年2月に、Crystallex 社が、CVG が Las Cristinas 金プロジェクトの開発契約を一方的に解消したことに関してベネズエラ政府を ICSID に提訴 ・2011年8月に、Chavez 大統領が国内の金産業を国有化する法令に署名、翌9月に公布 ・2012年11月、Anglo American が操業していた Loma de Nickel 鉱山のコンセッション契約の期限延長をベネズエラ政府は拒否、Anglo American はベネズエラから撤退
2013年のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・2012年10月の選挙で、反米左翼の Chavez 大統領が4選されたが2013年3月に死去、Chavez 路線の継承を訴えた Nicolás Maduro 氏が翌4月の選挙により大統領に就任(任期は2019年1月まで) ・2013年9月、中国の国家開発銀行が、ベネズエラの鉱業支援のため、7億US\$の融資を決定 ・金産業国有化、外資追放政策等の鉱業政策の混乱により、ベネズエラ鉱業は衰退

1. 鉱業一般概況

ベネズエラは世界有数の石油産出国であり、経済は石油による収入に大きく依存している。これに続く輸出産業としては、鉄鉱石とアルミニウムがある。一方、同国の非鉄金属産業はかつてニッケルと金があった。

ニッケルは、首都カラカスの南西 80km に位置し、Anglo American が操業する Loma de Niquel 鉱山で生産され、フェロニッケルとして輸出されていた。しかし、2012 年 11 月に同鉱山のコンセッション契約の期限延長をベネズエラ政府が拒否したことで Anglo American は Loma de Nickel 鉱山の生産を停止し、ベネズエラからの撤退を余儀なくされた。

金は、ベネズエラ東部の Bolivar 地域において、これまでロシア資本の Rusoro Mining 社（本社：カナダ）によって Choco Concessions 鉱山及び Mina Isidora 鉱山が操業されてきた。また、CVG 傘下の Mineraven 公社が Bolivar 地域で Colombia 鉱山、Union 鉱山などを操業しているが、設備の老朽化や非効率的な操業により生産量は減少している。

2011 年 9 月に公布された金産業を国有化する法律により、Rusoro Mining 社はベネズエラ政府との合弁企業（Venrus 社）への資産移管と補償に関する協議を行ってきたが、協議は不調に終わり、2012 年 4 月、同社が操業してきた Choco Concessions 鉱山、Mina Isidora 鉱山等は操業を完全に停止した。

2012 年 5 月、ベネズエラ政府は Rusoro Mining 社の資産・操業を Minerven 公社に引き継がせ、Venrus 社を完全な政府の管理下に置いた。Rusoro Mining 社は、これまでにベネズエラで行ってきた投資と同社に対する投資家の利益を守るため、2012 年 7 月、ベネズエラ政府を ICSID に提訴した。

ベネズエラの 2013 年の鉱山生産量は、ボーキサイト及び鉄鉱石が前年比で横ばいのそれぞれ 243 万 t、1,680 万 t であった。

2. 鉱業政策の主な動き

ベネズエラ政府は、金や鉄などの鉱業分野の国有化政策を継続しており、政府の方針と一致し、関係が良好な企業のみが開発に参画できる状況であり、現在、ベネズエラにおいては鉱業コンセッションの付与システムは停止状態にある。

また、2011 年 8 月には、金の価格高騰を受け、国内の金産業を掌握して不法採掘を停止させ、金の産出量を増加させることを目的として、Chavez 大統領が金産業を国有化する法律に署名、翌 9 月 16 日に公布された。

同法の制定により、ベネズエラで金を生産しようとする全ての者は、政府との合弁企業（政府権益は 55% 以上）を設立する必要がある、生産される全ての金は国際金価格（ただし、公式レートである 1US\$=4.3Bolivares）で中央銀行に販売しなければならなくなった。併せて、金産業の国有化の一環として、金の輸出も禁止すると発表された。同法の制定に際し、ベネズエラの産金地帯である Bolivar 県に居住する先住民から事前協議なく制定されたとして、同法は違憲であるとして反対運動が激しくなったほか、Bolivar 県で金の採掘を行う小規模事業者からも同法に反対する声が上がリ、同法の内容の不備に対する検討が行われていると伝えられた。

そのほか、Bolivar 県における多くの金鉱業従事者は、Mineraven 公社からリースされた土地で金を採掘し、同公社に金を販売していたが、2012 年 7 月の報道によると、同公社は資金不足により金鉱業従事者に対して金の代金を支払えずに滞納が 6 百万 US\$ に達している状況にあり、金産業を国有化する法律に対しては根強い反対がある。

2011 年 11 月、Chavez 大統領は、これまでベネズエラの鉱業セクターを所管していた基礎産業鉱業省を解体した上でエネルギー石油省を含めた省庁再編を行い、新たに産業省と石油鉱業省が発足した。これにより、鉱業セクターは石油鉱業省が所管することとなった。

2013 年 3 月の Chavez 大統領の死去により、同年 4 月に就任した Maduro 大統領は、基本的に Chavez 路線を継承しており、新たな鉱業政策の展開は見られず、ベネズエラ鉱業は衰退の道をたどり始めた。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

主要金属鉱産物の中で生産統計値があるのは、ボーキサイト及び鉄鉱石である。

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2011年	2012年	2013年	対前年増減比(%)	世界シェア(%)	ランク
ボーキサイト(千t)	2,454.8	2,500.0	2,429.3	-2.8	0.9	11
鉄鉱石(千t)	16,000.0	17,000.0	16,800.0	-1.2	0.5	13

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2014)

(2) 主要金属地金生産量

データなし

(3) 主要金属消費量

データなし

(4) 主要金属輸出货量

表 3-4. 金属地金等輸出货量

鉱種	2011年	2012年	2013年	対前年増減比(%)	主な輸出相手国
ニッケル フェロニッケル(千t)	2.2	714.3	1.6	-99.8	オランダのみ
鉄 鉄鉱石(千t)	8,088.4	8,580.2	5,785.0	-32.6	(データ無し)

(出典: World Nickel Statistics September 2014、World Metal Statistical Yearbook 2014)

(5) 主要金属輸入量

表 3-5. 金属地金輸入量

鉱種	2011年	2012年	2013年	対前年増減比(%)	主な輸入相手国
銅 地金(千t)	0.8	-	-	-	-

(出典: ICSG Copper Bulletin May 2014)



図 1. 鉱山位置図

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業 (%)	鉱種	2013 年生産量	備考
Loma de Niquel	ベネズエラ政府 (91.4) Corporacion Caracas (7.6)	ニッケル(千t)	—	2012 年の Anglo American 操業時の生産量は 8.1 千 t。2012 年の同社撤退後は 2013 年まで生産量データ無し。
Choco Concessions	Cia General de Minería de Venezuela (Ferrominera Orinoco (66.77)、 CVG (33.23))	金(t)	—	2007 年 12 月に、Rusoro Mining 社が Gold Fields 社から買収。2011 年 9 月に国有化。2011 年生産量は 1.7 t、2012~2013 年は生産量のデータ無し。
Mina Isidora	Cia General de Minería de Venezuela (Ferrominera Orinoco (66.77)、 CVG (33.23))	金(t)	—	2008 年 6 月に、Rusoro Mining 社が Helca Mining 社から買収。2011 年 9 月に国有化。2011 年生産量は 0.3 t、2012~2013 年は生産量データ無し。

5. 探鉱状況

(1) Brisas 金プロジェクト (鉱量：6 億 400 万 t、品位：金 0.644g/t、銅 0.128%)

Gold Reserves 社 (米) によって進められてきた Bolivar 州に位置する金の探鉱プロジェクトであるが、2009 年 5 月に政府はコンセッションの延長申請を却下し、10 月に政府関係者によって接收された。同社はこの政府の措置を不服として、同月、ICSID に仲裁を申し立てた。また同社は、Brisas 金プロジェクトと Choco5 金鉱山が実質的に接收されたことを不服として、2010 年 9 月に ICSID にベネズエラ政府を提訴し、18 億 6,700 万 US\$ の損害賠償を求めた。その後のプロジェクトの動向については報道されていない。

(2) Las Cristinas 金プロジェクト (鉱量：6 億 2,900 万 t、品位：金 1.03g/t)

Crystallex 社 (加) によって進められてきた金の探鉱プロジェクトで、鉱区は Brisas 金プロジェクトに隣接している。本プロジェクトに関しては、同社が環境許可取得のための申請を行っていたが、政府からの承認が得られない状態となっていた。そのような中、2011 年 2 月に、プロジェクト開発契約を締結していた CVG から一方的に契約を解消する旨を通達する文書が送付された。同社は、一方的な契約解消に関して、同月に ICSID に対しベネズエラ政府を提訴した。同社は、ベネズエラ政府の問題解決能力の低さや、カナダとベネズエラ政府との間で取り決められている投資促進保護協定違反を訴えており、2013 年 10 月現在、未決着である。2011 年 3 月に同社はプロジェクトの撤退を決定し、翌 4 月には同社はベネズエラ政府へのプロジェクトの譲渡を完了した。

一方、2011 年 7 月、当時の基礎産業鉱業省は、同プロジェクトにロシア、中国、ベラルーシ等の企業が関心を表明しており、様々な企業からの提案を検討していると伝えた。その後 2012 年 3 月、ベネズエラ政府は中国の CITIC Group と Las Cristinas 鉱床の共同開発を計画していると伝えられ、2012 年 4 月末には CITIC Group により、同鉱床の鉱量把握のための調査が計画されていると報じられた。

2012 年 9 月、Chavez 大統領は、同プロジェクトの開発について、政府は CITIC Group と合意に達したと発表した。

2013 年 9 月、Maduro 大統領は、中国の国家開発銀行が、ベネズエラの鉱業支援のため、7 億 US\$ の融資を約束したと発表した。この融資は、中国 CITIC Group が開発しようとしている Las Cristinas 金プロジェクトの開発を支援する計画であるとされている。

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

表 6-1. 日本への精鉱・地金輸出货量

鉱種	2011 年	2012 年	2013 年	対前年増減比 (%)
アルミニウム 地金 (t)	686	450	1,121	149.1

(出典：財務省貿易統計)

(2) 日本企業による投資状況等

特になし

7. その他トピックス

(1) Maduro 政権の誕生

2011 年から癌により闘病中であった Chavez 大統領は、2013 年 3 月初旬に死去した。2013 年 4 月の大統領選挙により、Chavez 大統領の元側近で、Chavez 路線の継承を訴えて第 54 代大統領として Nicolás Maduro Moros 氏が就任した。

Chavez 大統領によって鉱業セクターでは金産業の国有化や Loma de Niquel 鉱山の国有化が進められ、上述のとおり、ベネズエラで鉱業活動を行う外国法人は実質上閉め出されたことになるが、Maduro 政権でも資源ナショナリズムの風が止むことなく吹き続けるものと思われる。

(2) ベネズエラ鉱業の衰退

2013 年 3 月の地元報道によると、政府は 2013 年初から金生産量のデータを把握しておらず、最早データ自体が存在しないとも伝えられた。

2013 年 11 月の地元報道は、2013 年は過去 16 年間でベネズエラ鉱業にとって最悪の年となったと伝えた。

同紙によると、ベネズエラ中央銀行は、鉱業 GDP は減少の一途を辿っており、鉱業はベネズエラ経済にとって脇役的な存在になってしまったとの見解を明らかにした。

また、この報道の中で、ベネズエラ鉱業会議所の Luis Alejandro Rojas 会頭は、「石炭、金、鉄鉱石、ボーキサイト等を対象とする大規模鉱業は史上最低の生産レベルにあり、全ての鉱種の生産において深刻な問題が見受けられる。金の生産量に至っては、生産が好調だった時期の 10%以下という状況だ。」とのコメントを紹介している。中規模・小規模鉱業の活動もほぼ停止状態になっていると言われており、外国からの投資の不足により資本財や重機などの再調達ができず、国内の金属需要さえも、輸入によって満たす状況となっていると伝えられている。

さらに同紙は、Hugo Chavez 前大統領による金鉱業国有化の決定が、2013 年がベネズエラ鉱業にとって史上最悪の年となった一番の原因であるとの見解を示し、加えて業界関係者は、鉱業に関する政府の無策が追い打ちをかけたとの見方を示した。

Rojas 会頭は、国レベルで鉱業活動を回復させるには、鉱業に対する多大な資金投入と、一流企業の参入を誘致することが必要だと見解を述べた。さらに、Chavez 前大統領の金鉱業国有化法（政令 8413）は、この法律によって発展が抑制された鉱業セクターに再度活力を戻すため、より柔軟な内容に改正すべきだと意見した。

(2014.10.21 リマ事務所 岨中真洋)